

信州大学

信州大学農学部附属演習林における 2024 年のトピック

信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

公開森林実習：

令和 6 年度は台風 10 号の接近に伴い中止した、山岳環境保全学演習を除いた 4 つの公開森林実習を実施した。森林利用デザイン演習には東京都立大学と奈良県立大学、木材工学演習には新潟大学、農林フィールド基礎実習には宇都宮大学と新潟大学から受講生を得た。自然の成り立ちと山の生業演習は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センターの開講する森林フィールド講座・信州編として同時開講した。これらの実習には公開森林実習として受講した奈良県立大学と公立鳥取環境大学以外に、北海道大学、弘前大学、信州大学、大阪大学、岡山大学、日本大学から受講生を得た。中止となった山岳環境保全学演習には北海道大学、岐阜大学、東京農工大学、早稲田大学から受講生が応募していた。教育共同利用拠点再々認定の初年度にあたる本年度の実習では、各実習に SDGs の開発目標を掲げた。実習を体験したことで森林利用デザイン演習では目標 8 [経済成長と雇用]と目標 9 [インフラ、産業化、イノベーション]、木材工学演習では目標 15 [陸上資源]、自然の成り立ちと山の生業演習では目標 13 [気候変動]と目標 15 [陸上資源]に高い関心が寄せられた。

木材生産：

令和 6 年度はカラマツ林 6 ha の間伐による 1,000m³ の素材生産とそれに伴う 1,300m の森林作業道路の開設を目指している。これらの作業は業者請負で現在実施している。



森林利用デザイン演習での伐採現場の見学